

## 教育長室からのお知らせ No. 88(令和4年11月)

教育長 田中 康寛



11月になりました。季節の移り変わりが早く、秋を味わう間もなく冬がやってきたように感じています。この冬は、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されています。適切なマスクの着脱や手洗い、換気、三密の回避など、基本的な感染対策の徹底を改めてお願いいたします。

よりよい教育を提供するために、教育委員会は、市長との方向性の共有や、学校との丁寧な対話に努めています。

総合教育会議については前号でもお伝えしたところですが、令和5年度からの「市川市教育振興大綱」の策定に向けて、今年度2回目の会議が10月に開かれました。教職員の多忙化解消には業務の適正化が必要であること、すべての子どもの可能性を伸ばすことや多様な他者とともに過ごすことは重要であることなどを、市長と教育委員会において改めて確認する機会となりました。

今月から、教育委員による学校訪問を実施します。今回の対象は9校となりますが、教育委員が授業参観や校長との懇談をとおして学校の現状と課題を把握し、教育委員会として学校や教育内容の支援・充実につなげられるように努めてまいります。

先月は、「いちかわ学校三カ年計画」※に関連し、教育委員会事務局の幹部職員がすべての園長・校長とそれぞれ面接を行いました。「いちかわ学校三カ年計画」は、学校と教育委員会が課題を共有するためのツールです。園長・校長からは、重点目標に沿って課題が明確に示されます。面接後は、成果と課題、今後の取組などについて、教員委員会からの指導・助言を各園・学校の経営改善に活用しています。

今年度、八幡小、大柏小、行徳小が創立150周年を迎えます。市川市で一番古い歴史を持つ3校です。明治、大正、昭和、平成、令和という150年の長い時代の流れの中で、その時代ごとの課題や様々な変化がありました。そして、現在も変化の真ただ中にあります。一方で、どんなに時代が変わっても変わらないものがありますが、それこそが、物事の本質であると考えます。物事の本質を見失うことなく、新しい時代を切り拓いていけるよう、皆さんと共に歩んでいきたいと思えます。先人たちが、困難を乗り越えながら、守り作り上げてきた市川市の教育を、今を生きる私たちも未来へとつなげていきましょう。

※「いちかわ学校三カ年計画」とは、各学校で立案する3年間を見通した具体的な教育計画です。